

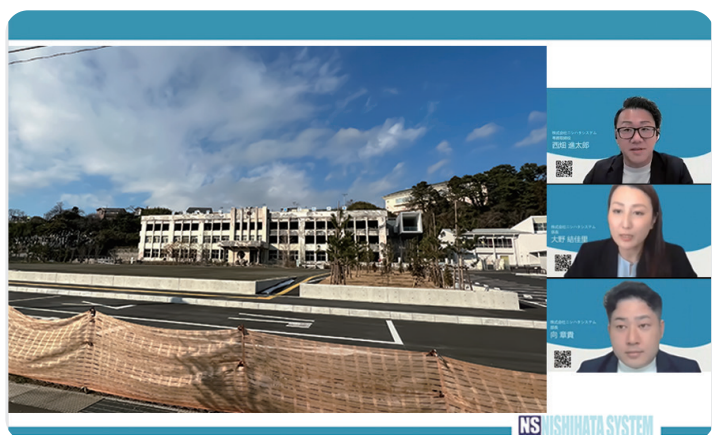
保育博 child edu & care JAPAN WEST
 — 保育・教育ビジネス&サービスフェア —
 2022年7月20日水 - 21日木
 会場 マイドームおおさか
 www.hoikuhaku.com
 詳細はこちら

- 10分で読める** 編集部のおすすめ記事紹介
- 1 改善重ねる 避難訓練に「変化」を
 - 2 震災語り継ぐ「むすび塾」 地域特性見極めて
 - 3 Zoomでオンライン遠足 追手門学院幼稚園
 - 4 ももしIT相談室「Excelのフィルター機能」
- Facebook: パステルIT新聞の制作の裏側やバックナンバーを更新中!
<https://www.facebook.com/passtellnews/>

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 通巻第158号

パステルIT新聞

購読申込・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで
 〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎054-626-8888 ☎054-626-3371
 発送先数：11,945施設（幼稚園 37% 保育園 40% 認定こども園 21% その他 2%）
 創刊：2008年6月20日 発行：株式会社サンロフト Webサイトは右記QRコードより



東日本大震災の被災地を訪れた際の様子とともに、災害を忘れず未来に活かす重要性を訴える同社の西畑専務（上）。

「災害は避けられない。災害の経験から、被害を最小限に抑えるための行動を考えて実施することで、生きた避難訓練になる」

同社の西畑専務は、一般的な避難訓練が毎回同じ手順で行われており、「実際に訓練が機能するか」「適切な判断ができるか」と不安な保育者が多い現状を指摘。その上で、自身が東日本大震災の被災地を訪れたときに感じた想いや事前防災の大切さを強調しました。

「日本は自然災害があまりに多く、悪い意味で『慣れ』がある。ただ近い将来、南海トラフなどの大災害は100%に近い確率で起きると予想されている。過去を忘れて現状の避難訓練を見直すきっかけにしてほしい」とセミナーに込めた想いを語りました。今回の企画の肝は、「良い避難訓練」。同社営業部長の向さ

んから、具体的な訓練の事例や実践するためのポイントが紹介されました。例えば、「避難訓練のゲリラ開催」。前触れなしの災害に対応できるように、具体的な日時ではなく実施週のみ告知することで、急に始まる実践的な訓練と計画的な保育を両立できたそう。また、「一番めんどくさい時間帯に実施」することも有効です。登降園の時間帯に実施する園では、職員や園児が園に揃っていない状況を想定し、保護者も巻き込んで訓練を実施。時間帯や場所に応じたルールを決めることで、慌てず冷静に動きやすくなったそうです。

参加者からは、「マンネリ化が課題だったので、見直す良いきっかけになった。これからはあらゆる場面を想定して自園の訓練を組み立てていきたい」「現状の避難訓練の方法が実践とはかけ離れている現状があり

IP無線機や緊急地震速報機の提供を通じ、園の災害対策を支援する(株)ニシハタシステムは、「子どもたちを守るための避難訓練セミナー」をオンラインで開催。43名が参加しました。

今回の研修で実際に訓練していく上で大事なことを再確認できるとも良かった。「避難訓練の在り方として当たり前だけど、実践が難しい」と思い、避けてしまっ

ていたことを改めて指摘してもらった。IP無線機の活用を含め、より実践的な訓練に改善したい」といった声が寄せられました。延べ500カ所以上の園の相談を受けてきた向さんは「失敗した箇所はいざという時も困りうる部分。反省会に時間はかけず、振り返りと課題出しだけで対策案は後日出し合うこと。そうして改善を重ねることで、良い訓練や自園に合った災害対策になる。主体的に考える力がつく職員が増えるのも取り組みのメリット」と実践のコツを伝えました。

予測不能の自然災害に備えて

園からは、「判断に迷った時に瞬時に連絡を取り合うことができ安心」という声も。IP無線機を活用している園の多くが、災害時への備えだけでなく、日常業務における職員同士の情報共有ツールとしても役立つという声も聞かれます。

いざという時に、園児や職員の安全を守るために。IP無線機は、日頃の業務改善と災害対策を両立する一助となっているようです。

同社では、IP無線機の活用事例集や避難訓練の工夫事例集の提供のほか、IP無線機の無料貸し出しを実施中。自園に合った活用方法などご相談もお気軽に。

災害対策事例

脱・マンネリで改善重ねる 避難訓練に「変化」を

2022年3月16日、福島県沖で発生したM7.3の地震は、東日本大震災を想起させるものでした。2000年以降、様々な自然災害が多発する中、園の災害対策を支援する(株)ニシハタシステムが、避難訓練セミナーを開催。いざという時、命を守るために本番を意識した備えが重要です。

株式会社ニシハタシステム (大阪府)
 「当たり前の防災を体現する」を理念に、園の災害対策や情報共有ツールとして、IP無線機や緊急地震速報機を提供し、園の災害対策を支援している。IP無線機は全国1,300園以上の園で活用されている。

IP無線機 伝シリーズ — ニシハタシステム —

全国無料貸し出し実施中!

園業務のお悩みはIP無線機で解決! 全国訪問なしでご案内可能!

株式会社 ニシハタシステム ☎0120-775-956

業務改善で 1,300園以上が導入!

サイトはこちら!

経験語り継ぐ「むすび塾」 地域特性、見極めて 日頃の交流「防災」に

東日本大震災の翌年、河北新報社は巡回型防災ワークショップ「むすび塾」をスタートさせました。むすび塾の取り組みやそこで語られた事例について、防災士であり、同社の防災・教育部の須藤氏に伺いました。

「むすび塾」とは？

河北新報では、宮城県沖地震が30年周期で繰り返されていたことから、他新聞社に比べても災害に対する備えの記事を多く取り上げてきました。しかし、東日本大震災の犠牲者は約2万人。「今までの防災報道は何だったのか」という思いが震災後ずっとありました。

その後、被災者の方の話聞いていく中で痛感したのは、同じ沿岸部でも、リアス海岸と呼ばれる県北部と、内陸に向かって平野が広がる県南部では地形が全く異なること、都市部と漁村では日中生活している人の年代が異なること、こうした地形や生活者の顔ぶれによって被害の形も必要な備えも大きく変わるということでした。特に東日本大震災は津波が川を遡る地域が多くあったことも特徴的で、川の形状によっては、内陸に逃げているにも関わらず前方の川から津波に遭うという被害もありました。



むすび塾（河北新報社／宮城県）
河北新報社主催の防災ワークショップ。3.11を振り返り、今に生かそうと宮城県を中心に全国で巡回開催。語り部・専門家とともに世代・地域を超えた体験・意見を紙面化している。

「何か一つの特効薬がすべての地域に効くことはない」

震災の教訓を振り返り、地域ごとに必要な備えを話し合うワークショップを開き、それを紙面化する防災報道に転換しようと考えました。それが「むすび塾」です。

「これまでに104回実施されてきたそうですね」

宮城県を中心とした被災地での開催が75回、県外が25回、海外が2回、オンライン開催が2回です。県外で行う場合は、東日本大震災の被災者の方を語り部として、震災の体験を共有してきました。

加えて、東日本大震災以降は各地で様々な防災対策が進んでいます。そうした全国の先進的な取り組みを被災地に逆輸入したいという思いもありました。

「保育施設や子どもに関する取り組み事例は？」

一つは、気仙沼市の一景島保育所。その保育所は海から近い位置にあり、東日

本大震災のときも津波浸水域でした。当時、保育所にいたのは乳幼児71名と保育者12名。乳幼児を抱えて高台に避難することは、女性の多い保育所にとってかなり体力を要する状況です。そこに駆け付けたのが近隣の水産加工会社に勤める男性社員2名でした。一景島

保育所では、震災前から保育所の避難訓練に地域の事業所の方に参加してもらっていたそうで、駆け付けた男性社員も日頃から訓練に参加していた会社社員の社員だったそうです。

震災の教訓でありながら解決が難しいものの一つが、乳幼児や高齢者といった要援護者の避難の支援。そして、保育者のような要援護者をサポートする人たちを守ることです。一景島保育所の事例は、保育所周辺に住む人や事業所との交流を深め、連携することの大切さを再認識するものでした。

もう一つの事例は、岩沼市の名取高校。2021年

プロフェッショナルコラム
あなたの園の未来のために



学園経営コンサルタント
石田 敦志氏



西暦2000年以降、共働き世帯が増えた日本社会の中で認定こども園が誕生し、保育園と共に2号認定園児の受け入れが強化されています。幼稚園も預かり保育等で子どもを預かる機能を強めてきました。これは社会変化であり時流なので、需要に合わせて園児の受入体制を整えることは必要なことです。

一方、あなたの園は幼児教育施設として地域に認知されていますか？ 保護者は、あなたの園の教育を理解し賛同していませんか？ 保育は、できるだけ多くの家庭に合わせ、選択肢を増やします。教育はどうしますか？ 園の究極の目的は、「幸せな人生を自分で歩ける子ども達を社会に戻す」ことであり、これを実現するのは幼児教育です。あなたの園の幼児教育を理解してもらうために、幼児教育施設と

「みんなをHAPPYに」の信念のもと、自身の経験を活かして、園経営、教職員育成を支援。

石田氏のメルマガ申込（無料）
aishida44@edure.jp

6月、避難所に指定されている同校を、地域の保育所の保育者と子どもたちが避難経路の確認のために散歩を兼ねて訪問しました。それをきっかけに高校生たちは自分たちの学校が「避難所」であることに改めて気づき、乳幼児の受け入れに必要な準備物や自分たちができることを考えはじめたという例です。その後、高校生たちは保育所に聞き取り調査を実施し、幼児用のトイレが必要であること、自らが遊んだり話したりすることが子どもの安心感につながるなど、避難所としての課題や必要なふるまいも見えてきたようです。

保育所との交流そのものが高校生たちの防災に対する意識を身近に引き寄せることにつながっていました。

「保育者に大事にしてほしいことは？」

幼児を守ると同時に、自分や家族を守ることがまず大事にしてほしいです。そのために、保育所のある地域の地形や人、特性を知ること。宮城県七ヶ浜町の自治会では、震災前にハザードマップを作成していたことで二次避難ができ、津波を逃れました。最初に避難した先は海拔3m。その後津波警報で発表された同地域の津波の高さは6m。「ここはダメだ。10mのと

ころに行こう」となるべく高いところを通って二次避難をしたそうです。マップづくりを通して、地域の地形や海抜、危険な箇所や役に立ちそうな箇所を自分たちの目で見て調べていること、地域住民との交流が育まれていたことが迅速な判断を後押ししました。

保育所や学校の再開は復興のスピードと大きく関係します。保育所が再開すると親は子どもを預けられて、自宅の片付けや仕事に復帰できるようになります。少しずつ少しずつ復興が動いていく。そうした地域の復興に伴走する意味でも防災に目を向けてほしいです。

むすび塾ワークショップのバックナンバーは河北新報社サイトからご覧いただけます

職員室で共有している情報をクラウドで保管！どこからでも確認できる！

園内の大切な情報を災害から守りませんか？

災害時の安否確認にも！ 園向け nanoty

教室にいながらサファリパークを体験!?

Zoomでオンライン遠足

新型コロナウイルスの影響で外出が制限される中、幼保連携型認定



アドベンチャーワールド内のサファリワールドから動物たちの様子をリアルタイム配信

子ども園追手門学院幼稚園(大阪府)は、2022年2月1日、「教室にいながら遠足をしよう」とオンラインによるサファリパークの体験会を実施しました。

同園は、和歌山県にあるアドベンチャーワールドの協力のもと、テーマパーク内のサファリワールドと園をオンラインで接続。同施設のスタッフがサファリワールド内を

ジープで周り、キリンやラクダ、ライオンやホワイトタイガーなど、さまざまな動物が過ごす様子を解説したり、簡単なクイズを行ったりしました。さらに、ジープを降りて、キリンがエサを食べる様子を近くまで歩いて行って観察したり、ライオンがエサのお肉を食べる様子を車で接近して撮影したりと、その配信映像は動物たちがすぐ目の前にいるかのような演出。映像はZoomを通してリアルタイムに配信され、園からは4歳児クラスの120名が視聴。大型モニター2台とスクリーンを使い、3か所に分散して視聴できる環境

を整えました。リアルタイム中継のよさを活かし、同施設のスタッフとも交流をしながら、45分間の迫力ある遠足を楽しみました。実は、このオンライン遠足は園とPTAの保護者が共同で企画したもの。企画した保護者のひとりには、「コロナ禍での行動制限でなかなか水族館や動物園に足を運べなかった。オンラインを活用することで、園児たちの体験や学ぶ機会を増やし、なによりも少しでも子どもたちの笑顔を増やしてあげたかった」と言います。

同園はこれまでも、オリジナルデジタル絵本の製作や知育アプリの活用、保育動画の配信、自宅でも閲覧可能な電子図書館サービスを導入したりと、ICTを積極的に活用してきました。今回のオンライン遠足も保育の充実につながる新たな試み。コロナ禍で同じ悩みを抱える園の共感を呼ぶ事例となりそうです。

園児の様子を動画で伝えたいけれど、「動画は難しい」「セキュリティが心配」など悩みも園も多いのではないのでしょうか? リコー「そだちえ」の使い方は、保育者が撮影した動画を専用ページ(ROOM)にアップするだけ。投稿された動画は、保護者が全編無料で閲覧できるほか、お気に入りの動画を購入することもできます。また、保護者画面には、広告表示もされないため安心。導入費・利用料ともに無料で、1動画あたり最大20GBまでアップロードが可能です。また、写真販売やお知らせ配信、園アルバム作成などの他の機能と合わせて利用できるほか、売上の一部

無料で使えるリコーの動画配信「そだちえ」

成長記録を保護者へ。撮影用スマホプレゼント中!

「保護者に園児の様子をもっと伝えたい」。オンライン写真販売「そだちえ」を通じ、こうした保育者の悩みや保護者の満足度向上に取り組む(株)リコーは、近年の園での動画配信の需要拡大に伴い、動画の配信・販売サービスも開始しました。



動画の閲覧無料(購入可)

園児の様子を動画で伝えたいけれど、「動画は難しい」「セキュリティが心配」など悩みも園も多いのではないのでしょうか? リコー「そだちえ」の使い方は、保育者が撮影した動画を専用ページ(ROOM)にアップするだけ。投稿された動画は、保護者が全編無料で閲覧できるほか、お気に入りの動画を購入することもできます。また、保護者画面には、広告表示もされないため安心。導入費・利用料ともに無料で、1動画あたり最大20GBまでアップロードが可能です。また、写真販売やお知らせ配信、園アルバム作成などの他の機能と合わせて利用できるほか、売上の一部

を園に還元したり、子どもの支援団体に寄付したりと選択肢が多いのも魅力です。また、専用ページは関係者以外に見られる心配がなく、管理画面で閲覧・購入履歴を確認可能。会社による毎月の監査や、政府のガイドラインに準拠した暗号化ネットワークにより個人情報も守られています。

現在、同社では撮影用スマートフォン¹の無料プレゼントを実施中。園のWi-Fiに繋がれば、撮影してすぐに投稿できます。「園児の成長をもっと伝えたい」という園にぴったりです。

同社の「リコー」子ども成長アルバム「そだちえ」の詳細はこちら

コロナ、悪天候。不測の事態もプレスクール継続 絶やさず子育て支援にオンライン活用

神奈川県にある横浜さきみ幼稚園は、就園前の子育て家庭を対象に親子教室を開催しています。タッグを組むのは、0〜2歳児向けの子育て支援講座や親子教室を全国各地の園で開催する日本ふれあい育児協会。同協会が園の方針にあわせて作成する年間カリキュラムをもとに、専門講師によるリトミックやベビーマッサージ、季節に合わせた行事・製作遊びなどを二人三脚で実践してきました。しかし、コロナ禍は園に

多株が急拡大した9月、同園の苅込恵子先生は協会と相談し、予定していた親子教室をZoomで開催することを決断。その後も雪などの悪天候が予想される日はオンラインで開催し、継続を心がけてきたそうです。「コロナ禍で育児うつや虐待のニュースをよく聞くようになり心が痛む。親子のコミュニケーションは子どもの発達にも大きな影響を与える。0〜2歳の時期にいかに言葉をかけるか。お母さんたちの悩みに寄り添いたい」と苅込先生。




配信方法はZoomまたはインスタライブ。同園の親子教室への入会は抽選になるほど人気で、参加者の8割が入園へとつながっている

同園と伴走する日本ふれあい育児協会の三上代表も、「私たちの役割は子育てで困っているお母さんたちを楽しませること、そしてお母さんたちと園をつなぐこと。子育て支援の手を止めず、園と地域の子育てを応援したい」と思いを語ります。

同協会による子育て支援教室のキャリアキュラム詳細はこちら

現在、同社では撮影用スマートフォン¹の無料プレゼントを実施中。園のWi-Fiに繋がれば、撮影してすぐに投稿できます。「園児の成長をもっと伝えたい」という園にぴったりです。


同社の「リコー」子ども成長アルバム「そだちえ」の詳細はこちら




園児募集や職員採用に活躍!

あなたの園だけの魅力を伝える動画制作

ホームページや園の説明会にも繰り返し使えます!



Webサイトはこちら



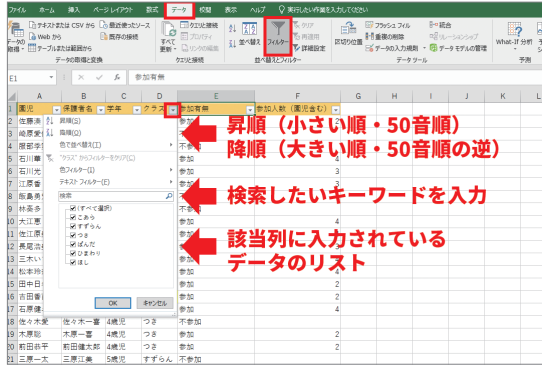
TEL 054-626-8888

「SNSのデマでまてまて!」編



テーマ「フェイクニュース」

災害時に必ず流れるデマ。SNSの拡散により、いわゆる「フェイクニュース」の問題が増えています。インターネットは情報収集に便利な反面、情報源や筆者の真意を注意深く確認し、自ら見極めていくことが大切です。



さまざまなデータの並び替え・絞り込みができる

Excelに記録したアンケート回答内容を確認するときに便利なのが、フィルター機能です。フィルターを使うと、情報の並び替えや特定の条件で絞り込んでデータを抽出することができます。

まずフィルターをかけたデータ内のセルをひとつ選択し、「データ・並び替えとフィルター」をクリックすると、先頭に「▼」マークが表示されます。例のようにクラス名が記載された欠確認アンケートで、特定のクラスに絞り込んで回答を表示し



園児管理システム「パステルApps」公式サイトはこちらをご覧ください。

パステルラインサポートセンター

お客さまとのつながりを大切に、「小さな感動」からパステルのファンになっていただくことを目指しています。パソコンやITなどが苦手な先生も、お気軽にお問い合わせください!

Excelのフィルター機能でデータの抽出や整理がしやすくなります。

もしもしーT相談室

Excelでまとめた保護者アンケート集計表をもっと見やすくしたい!

もしもしーT相談室

紙でのアンケート収集は、Excelに転記する負担があるため、回答を自動収集できるGoogleフォームや園児管理システムに備わっているアンケート機能を利用すると、より効率的にアンケートを実施できそうです。

絵本

今日はピクニック。ねずみちゃんは、はりきってお弁当をつくります。穴あきのしかけをめくるとお友だちの大好きな食べ物が完成! 思いやりが詰まった絵本です。

『おともだちべんとう』
作・絵 / 白土 あつこ
発行 / ひさかたチャイルド
定価 / 1,430円 (税込)

CANVAS NEWS! 遊びと学びの秘密基地

デジタルえほんアワード 2020 審査員特別賞「実験ARおうち花火大会」

デジタルえほんアワード 2020 の受賞作品から、審査員特別賞受賞の「実験ARおうち花火大会 (信濃毎日新聞社 / 日本)」をご紹介します! 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、夏の風物詩を届けたいという思いを込め実施された本作品。全国各地で中止が相次いだ花火大会を、新聞紙面で再現。紙面のQRコードをスマートフォンで読み、かざすと新聞紙面の湖上に花火が打ち上がります。※現在は公開を終了しています

たのしい! みたことない! 世界が広がる! デジタルえほんアワード

デジタルえほんアワード

http://www.digitalehonaward.net/

教育分野 日本最大^{※1} 320社^{※2} が出展

EDIX 東京 内

第2回 保育・幼稚園ICT化 EXPO

会期: 2022年 5月11日[水] ~ 13日[金] 10:00 ~ 18:00 (最終日のみ17:00終了)

会場: 東京ビッグサイト 西展示棟

今、知っておくべきテーマに関連する製品・サービスが集結!

- 登降園管理
- 英語教育災害対策
- シフト作成・残業管理
- 知育玩具
- デジタル連絡帳
- 園内ネットワーク
- 保育料の自動計算
- セキュリティシステム
- デジタル教材
- 見守りサービス
- アルバム作成サービス

…などが出展予定

製品の実物を見て・触って・体験できます

招待券のお申込みはこちら(無料) >>>

Webでも受付中! EDIX 東京

(お問合せ) 企画運営 RX Japan株式会社 (旧社名:リードエグジジションジャパン) EDIX 事務局
TEL: 0570-015-009 E-mail: edix.jp@rxglobal.com